



佐渡西三川砂金山採掘の歴史

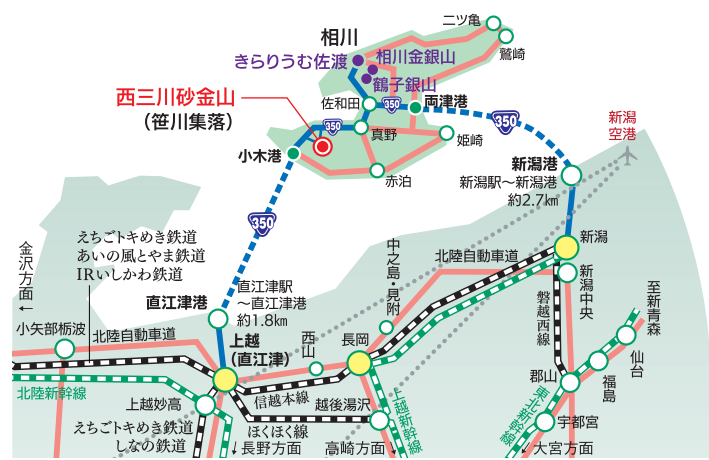
西三川川流域は古くから砂金を産出する場所として知られています。平安時代後期の『今昔物語集』や鎌倉時代の『宇治拾遺物語』には、能登国の鉄掘り(砂鉄の採掘)集団の長が佐渡国で砂金を採った説話があり、その舞台が西三川の地であると考えられています。

砂金山閉山以降、砂金採取に関わった人々は生業を鉱業から農林業へと変え、この地に留まりました。現在は地域の皆さんで構成する「笹川の景観を守る会」によって景観の保全が図られています。

ご見学の皆様へのお願い

- 西三川地区は、現在も農業を中心とする人々の生活が営まれている場所です。砂金山に由来する農山村の景観を守り、永く後世に残していくため、道標および案内板以外はほとんど観光客向けの施設を設置していません。
- ご見学に当たりましては、一般の観光地とは異なる本地区の事情をご理解いただき、以下の事にご配慮いただきますようお願いいたします。
- 1. 車の通行
県道・市道以外の農道・林道や民家敷地内への車両の乗り入れ・駐車はご遠慮ください。
- 2. 見学について
地区内の道路は狭いため、沿道脇の駐車はご遠慮願います。
定められた散策ルート以外には立ち入らないでください（民家の敷地、水田のアゼ、山林など）。
- 3. トイレ
現在、公共トイレはございません。ご了承ください。
- 4. ゴミ
ゴミ箱は設置していませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 5. 落石等の注意
砂金採掘跡の山の斜面は落石及び地滑りが発生しやすい場所です。斜面等には近づかないでください。
- 6. 植生の保護
西三川地区の豊かな里山の景観は人と自然とのバランスを保った営みによって支えられています。樹木及び山野草・山菜などの採取はご遠慮ください。植生の保護にご協力をお願いします。

《交通アクセス》西三川地区(笹川集落)にお越しになるには



●両津港から…車で約 60 分(国道 350 号線)
●小木港から…車で約 30 分(国道 350 号線・県道 432 号線)
※笹川集落へ直通の路線バス等はありません。
レンタカー・タクシーをご利用ください。

佐渡金銀山ナビ

Explore Sado Gold & Silver Mine

スマートフォン用アプリ

iPhone用

Android用

世界遺産推進課

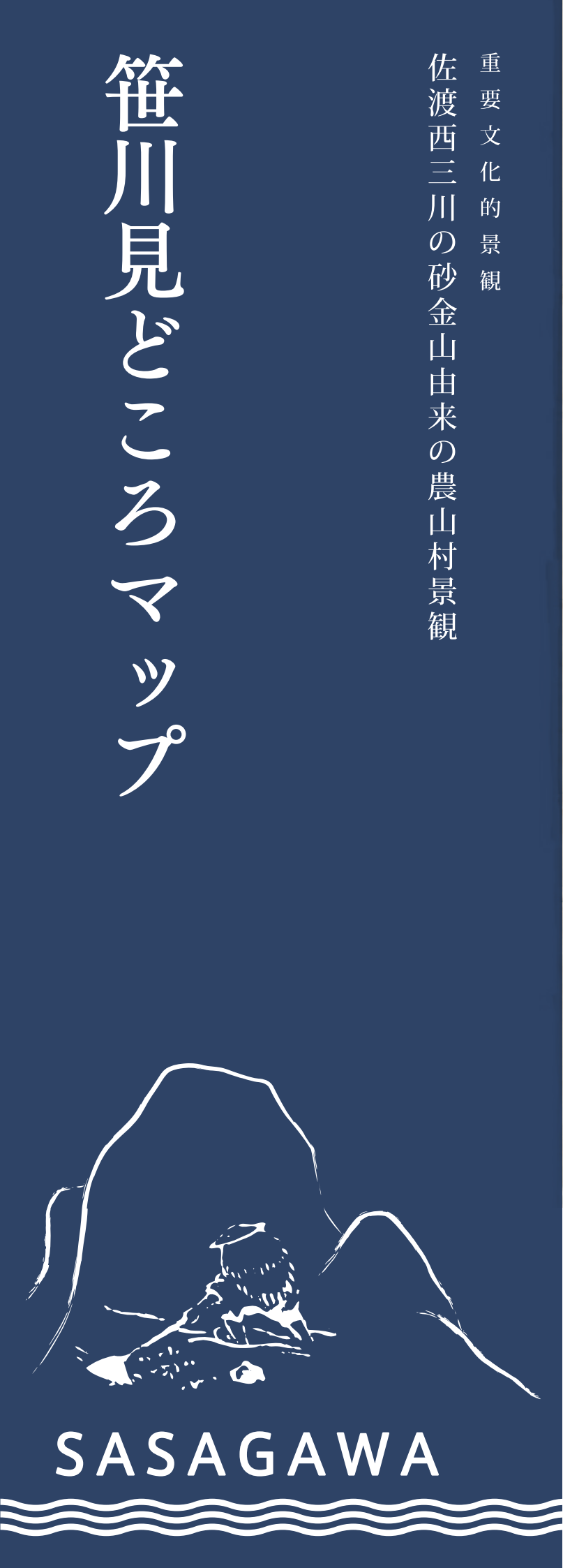
ホームページ

「佐渡を世界遺産に」

お問い合わせ

新潟県佐渡市世界遺産推進課 TEL：0259-63-5136
き ら り う む 佐 渡 TEL：0259-74-2215

発行日：2022年07月29日



文化的景観とは

棚田や里山など、自然と人の生活の営みとが作り上げてきた景観のことを言います。その地域の特色や暮らしを理解するために欠くことのできないものを自然の生態系を含めて保護するための文化財です。

西三川地区では、明治5年(1872)の砂金山閉山以降、現在まで集落や周辺の山並み、「大流し」という砂金採掘による採掘地や水路・堤などの痕跡が良好に残り、江戸時代の絵図と大きく変わることなくかつての繁栄の様子をうかがい知ることができます。

平成23年9月に重要文化的景観に選定されました。